

# 中学校給食の早期実現を

50年歴史がある西宮市に視察に行ってきました

「川西市の中学校給食を実現する会」の会員として



## 先生も生徒も和気 あいあいと食事

食事時間は決まっていますが、配膳の時は係り以外の生徒はすべて教室から出て待機。食材の8割ぐらいを全員で均等割りし、残った食材は欲しい生徒が手を挙げていただく。量が多いと思った生徒は隣の生徒などをお願いして食べてもらうという工夫をすることで残量がほとんどないとのことでした。

残しておいた食材も結構食べたい希望者が多く、先生もじゃんけんの仲間に入りしてエビフライをゲット、おいしそうにいただいていた。

生徒に家の食事とどっちがおいしいのか尋ねたら「・・・」どっちもおいしいということでした。

食事を早く終わっても席を立つことをせず、自習をし、チャイムの音とともに片付けが始まりました。

西宮市では昭和27年から一部実施をし、35(1960)年から小・中学校すべてで給食を実施したとのことで浅いところでも53年の歴史を持っています。

現在小学校が40、中学校が20校あり、4万人を超える児童生徒数です。

基本は自校方式で、白米をたぐときだけ委託されています。

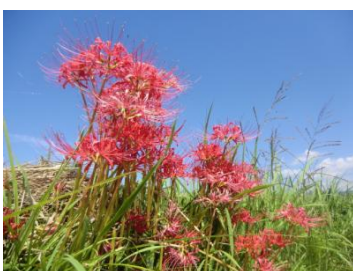
説明を聞いていて驚いたのが給食の食べ残しが小学校の二学期で2%未満、中学校は0.2%と言いますから、残しているものはほとんどないといった状況で、後かたづけを見ても、エビフライのしっぽが少し残っていただけでした。



日本型食生活、季節感を出す、本物の味がわかる、歯や顎を丈夫にするなど気を付けて献立を工夫されていました。

学校生活に溶け込んだ給食風景を視察させていただきました。

すばらしい！給食残量が0.2%



よし **くらしの**

**「由さん」の 便り**

2013年10月 317号

川西市議会議員(日本共産党)

**住田由之輔** すみだよしのすけ

連絡先・下加茂 1-24-23

ケイタイ 090-9283-6739

## 9月議会報告

### 企業会計は3件、認定されました

9月26日、議会最終日に議案等の採決が行われました。

その中で、水道、下水道の決算は全議員「認定」しました。

市立川西病院の決算については二名が不認定しましたが、日本共産党議員団などほかの議員が認定しました。

西畦野新名神高速道路現場と遺跡調査箇所



「川西市男女共同参画条例の  
制定を求める」請願がされまし  
た。

採択

川西市が作成した男女参画プランでも、条例の制定を目指すことが書かれています。

社会全体でも男女の区別なく、互いに補完しあってより良い社会をつくっていく方向でもあります。

しかし現実には様々なところで差別があり、男優先社会でもあります。この状況を行政として改善していくための指針、「条例の制定」が必要です。

この請願に対して、日本共産党議員団3名、公明党4名、民主党6名、自治市民クラブ2名の合計15名賛成で採択されました。今後の行政に早期に反映されることを望みます。

## 議案

・「川西市税条例の改定」は、延滞金の利率を半分にするもので、全議員が賛成。

・「多機能型市民サービスセンター整備工事請負契約の締結」については、川西市が川西都市開発株式会社支援のために3億円でアステホールを買収し、その結果の改修費であり、市民の納得は得られないと私たち議員団は反対しましたが賛成者多数で採択されました。

・「中央北地区PFI事業にかかわる協定の締結」については、総額15億円に上る工事費であり、財政的に市として「ためになるのか」。市内業者育成の観点から「規模を膨らませる形態でいいのか」。道路、公園の設計から施工、維持管理まで一貫して委任することになるが、「低炭素住宅」を標榜する市の指針に合致するものができるのかなど、疑問点を指摘しながら、基盤整備の部分であり賛成しました。

「最低賃金制度改正につ  
いての意見書提出を求め  
る」請願は

否決。

最低賃金制度下では生活保護基準以下の地域もあり、せめて1000円以上へ引き上げてほしい。実施に当たっては中小企業を公的に支援してほしいという内容でしたが、共産党3人、自治市民クラブ2人という賛成者少数で否決されました。

民主市民クラブから「議員報酬3%削減を来年の選挙までカットする」議案が出てきましたが、そのことについては「議会運営委員会」の「議会改革検討会議」で議論して、議運では出さないという結論を得たこと。その時に民主市民クラブから異論が出てこなかったことなどを考えれば、議案提出そのものが「議会運営委員会」を軽視していると思えないことなど理由で、民主7名、自治市民クラブ2名以外は反対しました。